全国健康保険協会 山形支部
協会けんぽ

Press Release

報道関係者　各位

令和6年12月23日
（照会先）
全国健康保険協会山形支部
企画総務グループ　安達
電話：023-629-7226

協会けんぽの傷病手当金で「精神疾患」が請求傷病第1位
生活習慣病に起因する傷病割合が全国比で顕著に高い！

全国健康保険協会（協会けんぽ）では、業務外の病気や怪我による療養のために会社を休み給料を受けられない場合、休業保障として「傷病手当金」を支給しております。

傷病手当金の受給者の状況については毎年調査を行っており、この度令和５年度の調査が完了いたしましたので概要を報告いたします。

※調査対象：令和５年10月に支給決定した傷病手当金受給者全員
（なお、この調査における疾病分類は、社会保険表章用疾病分類表による。
そのうち、「特殊目的用コード」には新型コロナウイルス感染症が含まれる。）

【全国】

総支給件数　169,957件 （前年度比 141,142件減）	
男性	女性
85,408件 （前年度比 66,610件減）	84,549件 （前年度比 74,532件減）
50.3%	49.7%

（参考）被保険者数割合	
男性	女性
58.1%	41.9%

【山形】

総支給件数　1,358件 （前年度比 852件減）	
男性	女性
661件 （前年度比 443件減）	697件 （前年度比 409件減）
48.7%	51.3%

（参考）被保険者数割合	
男性	女性
57.3%	42.7%

概 要

全国健康保険協会（協会けんぽ）で毎年実施している定月（１０月１か月の申請分）における傷病手当金の支給状況調査において、この度令和５年１０月の調査結果から、山形支部においては以下の状況が判明した。

① 山形支部の支給傷病第１位は、「精神および行動の障害」

② ①より、精神疾患は傷病別割合としては最も高いが、全国との傷病別割合でみると８％程度低く、伸び率も落ち着いている

③ 傷病別割合で2位の「新生物」及び４位となる「循環器系疾患」は生活習慣に起因する『生活習慣病』に分類されるが、それらは全国比でみると大変高い

以上の結果を受けて、協会けんぽ山形支部は、関係団体と連携しながら

◆ 事業所における「メンタルヘルス対策」の実施
◆ 生活習慣病予防対策としては、健診受診後の事後措置の徹底。また、全国ワーストとなっている運動習慣要改善者割合の改善に向けた運動への取り組み促進及び減塩への取り組み促進の啓発

上記2つを、同時に推進していく必要があると考えております。
この課題に対応すべく、来年度計画している事業は下記の通りです。

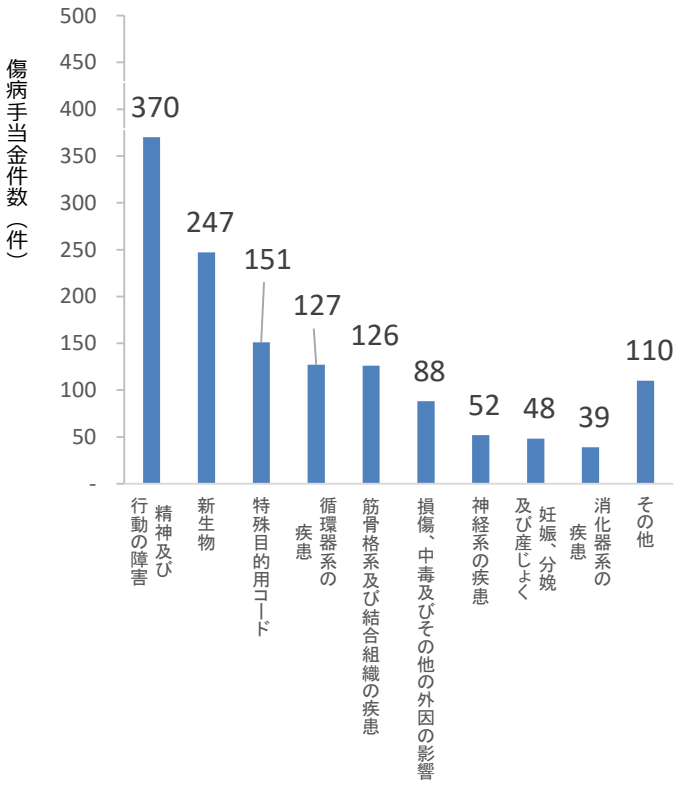
- 山形産業保健総合支援センターと連携した事業所向け「メンタルヘルスセミナー」の開催
- 山形労働局と連携した事業所への「健診受診後の事後措置の徹底」に向けた働きかけ
- やまがた健康企業宣言登録事業所向けの健康づくりセミナー（運動・食事・たばこ・アルコール等）
- 幼少期からの健康及び正しい生活習慣における知識向上のための子供健康教室の開催　　等

1 .山形支部の傷病別の支給状況

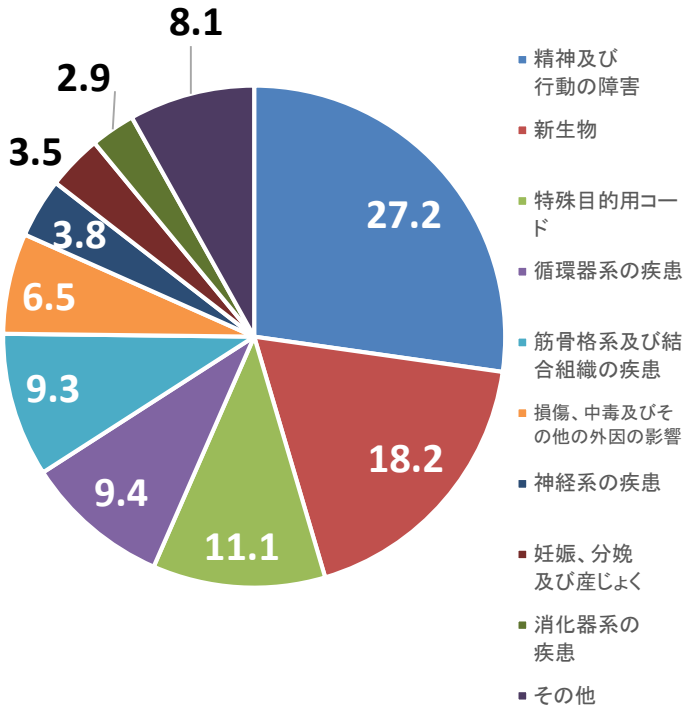
山形支部において令和５年10月に支給決定した傷病手当金の受給の原因となった傷病別に件数の割合をみると、うつ病などの「精神及び行動の障害」が27.2%で最も高くなっており、次いで、がんの「新生物」が18.2%、新型コロナウイルス感染症を含む「特殊目的用コード」が11.1%、脳血管疾患・心疾患などの「循環器系疾患」が9.4%、腰痛・骨折・捻挫・椎間板ヘルニアなどの「筋骨格系及び結合組織の疾患」が9.3%と続いています。

一方全国の支給件数構成割合をみると、山形支部と同様に、「精神及び行動の障害」が35.2%と最も高くなっており、次いで「新生物」13.6%、「特殊目的用コード」11.0%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」8.18%、「循環器系疾患」6.9%という順位になっています。

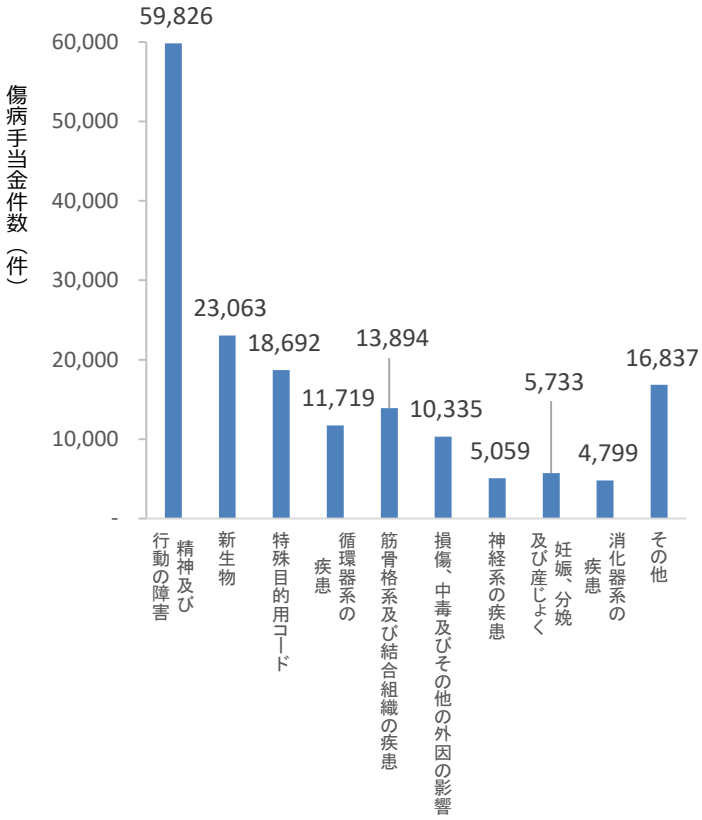
【山形支部における傷病別支給件数】



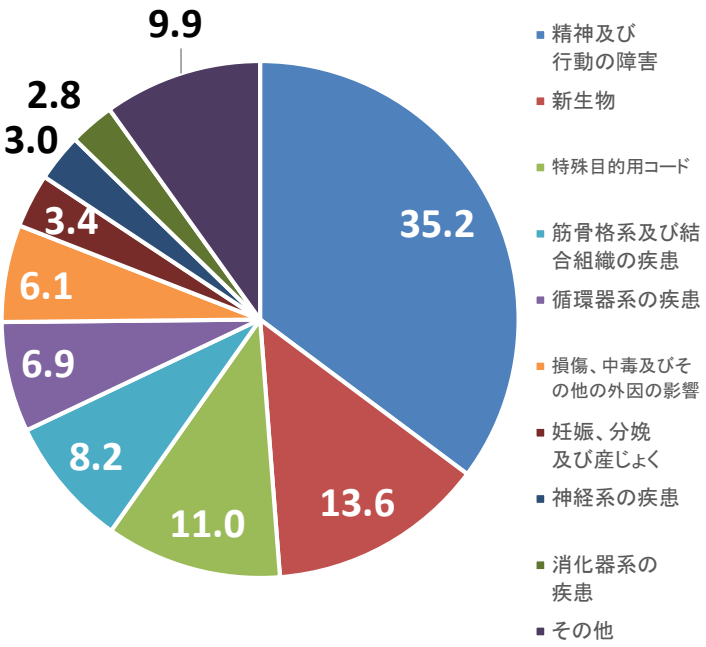
【山形支部における傷病手当金
傷病別支給件数構成割合】



【全国における傷病別支給件数】



【全国における傷病手当金
傷病別支給件数構成割合】



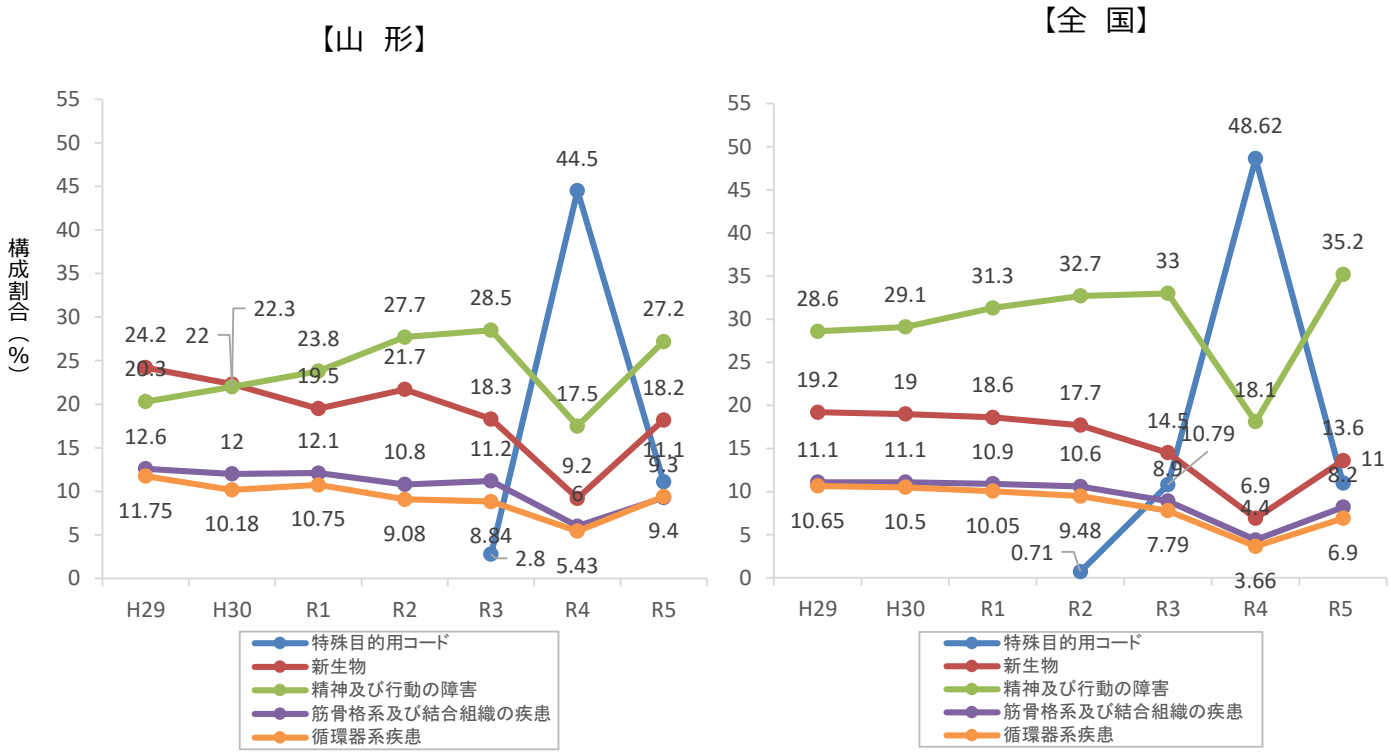
2.請求原因の推移

山形支部における傷病別の支給件数構成割合をみると、①精神及び行動の障害（精神疾患）に対する傷病手当金は、令和元年に第1位となってから、継続して請求傷病ではトップとなっております（昨年度調査においては、新型コロナウイルス感染症による請求が激増したため、請求傷病としては2位となったが、その特異的な動きを除けば継続して請求傷病第1位ということになる）が、今回の調査において全国の比率と比較すると８％ほど低くなっており、令和3年度調査時からの伸び率では全国は2.2P増に対し、山形は0.7P減となっております。

一方で新生物における割合が全国比で4.6Pも高い状況であり、経年的に減少傾向にある全国に比べ、山形ではほぼ高いまま横ばいの状況が続いております。

また、支給件数割合で4位となっている脳卒中や心筋梗塞などの「循環器系の疾患」に占める割合が、全国比で2.5P高く、総じて生活習慣病に占める割合（新生物＋循環器系の疾患）が7.1Pも高い状況であるため、早急な対応が必要です。

山形支部の傷病手当金請求件数上位3傷病の支給件数構成割合経年推移



3.山形支部における今後の課題について

この度の傷病手当金の支給状況調査において、山形支部ではメンタルヘルス不調による休職者、及び結果として退職して引き続き受給する被保険者が多い状況が継続しているため、事業所全体で「メンタルヘルス対策」を行うことが課題として挙げられます。

そのため、当支部では「メンタルヘルス対策」への取組強化を目的として、令和4年3月に山形産業保健総合支援センターと健康づくりに関する協定を締結。また今月13日には山形労働局と働く世代の健康づくりに関する協定を締結しました。両機関と連携の上、メンタルヘルス事業を実施してまいります。

また、生活習慣に起因する傷病での請求が多いことによる生活習慣病予防対策としては、「健診受診後の事後措置の徹底」を促進するため、山形労働局等関係機関と連携して事業に取り組みます。さらに血圧リスク保有者割合を下げるために運動や減塩に取り組む必要があるため、運動促進や減塩に関する啓発を図るとともに、来年度からは子供への健康教室を実施し、健康への意識付け、正しい生活習慣に対する知識の向上を目指した事業を開始いたします。

働く方々の休業保障である傷病手当金の支給状況とともに、メンタルヘルス対策への取り組み、健診受診後の事後措置の徹底、及び運動や減塩への取り組みが必要な現状を周知し、疾病発症前に行うべき予防対策の更なる促進の必要性について報道いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

傷病手当金について

【傷病手当金】

会社にお勤めの方が、次の条件を満たした場合に支給される休業保障となる給付金。

①仕事とは関係ない病気やケガの療養のための休業であること
②それまで就いていた仕事に就くことができないこと
③4日以上仕事に就けなかったこと（連続する3日間の休業を含む）
④休んだ期間について給与の支払いがないこと

以上の条件を満たした場合、4日目以降について支給することができます。

また、退職された場合であっても、以下の条件に該当した場合は、引き続き傷病手当金の支給を受けることができます。

①資格を喪失した日の前日（退職日等）までに1年以上の継続した被保険者期間があること
②被保険者資格喪失日の前日（退職日等）に傷病手当金の支給を受けているか、受けられる状態にあること
③同一の傷病により、資格喪失後も引き続き療養のため労務不能であること
④労務不能期間が継続していること

«支給期間»

支給開始日から支給期間（実際に支給された期間）を通算して1年6か月の期間を限度として支給されます。

«支給額»

1日あたりの金額：支給開始日の以前12か月間の各月の標準報酬月額を平均した額÷30日×2/3

都道府県別件数割合が高い傷病（令和５年10月分）

	1位		2位		3位	
	傷病	件数割合	傷病	件数割合	傷病	件数割合
全国	**精神及び行動の障害**	**35.20**	**新生物**	**13.57**	**特殊目的用コード**	**11.00**
北海道	精神及び行動の障害	33.34	新生物	18.24	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.30
青森	精神及び行動の障害	23.05	新生物	19.90	特殊目的用コード	13.34
岩手	精神及び行動の障害	30.62	新生物	16.74	循環器系の疾患	9.69
宮城	精神及び行動の障害	32.03	新生物	16.72	特殊目的用コード	10.23
秋田	精神及び行動の障害	27.12	新生物	18.71	特殊目的用コード	12.11
山形	精神及び行動の障害	27.25	新生物	18.19	特殊目的用コード	11.12
福島	精神及び行動の障害	30.34	新生物	16.44	特殊目的用コード	9.77
茨城	精神及び行動の障害	28.12	新生物	15.65	特殊目的用コード	12.93
栃木	精神及び行動の障害	28.35	新生物	14.98	特殊目的用コード	11.90
群馬	精神及び行動の障害	26.33	新生物	15.12	特殊目的用コード	12.69
埼玉	精神及び行動の障害	34.05	新生物	14.23	特殊目的用コード	9.49
千葉	精神及び行動の障害	32.08	新生物	14.32	特殊目的用コード	10.78
東京	精神及び行動の障害	45.33	特殊目的用コード	12.79	新生物	9.80
神奈川	精神及び行動の障害	37.55	新生物	13.28	特殊目的用コード	10.41
新潟	精神及び行動の障害	31.13	新生物	16.23	特殊目的用コード	10.72
富山	精神及び行動の障害	29.14	新生物	14.53	特殊目的用コード	10.82
石川	精神及び行動の障害	29.69	特殊目的用コード	13.60	新生物	13.10
福井	精神及び行動の障害	29.45	新生物	17.00	特殊目的用コード	12.27
山梨	精神及び行動の障害	35.49	新生物	13.52	特殊目的用コード	12.72
長野	精神及び行動の障害	34.34	新生物	13.78	特殊目的用コード	10.30
岐阜	精神及び行動の障害	29.92	新生物	15.78	特殊目的用コード	12.47
静岡	精神及び行動の障害	30.00	特殊目的用コード	14.01	新生物	13.07
愛知	精神及び行動の障害	37.68	特殊目的用コード	12.39	新生物	11.79
三重	精神及び行動の障害	30.10	新生物	13.02	特殊目的用コード	12.63
滋賀	精神及び行動の障害	31.93	新生物	13.51	特殊目的用コード	12.59
京都	精神及び行動の障害	38.06	新生物	13.51	特殊目的用コード	9.07
大阪	精神及び行動の障害	40.87	新生物	12.09	特殊目的用コード	9.23
兵庫	精神及び行動の障害	34.11	新生物	14.16	特殊目的用コード	10.27
奈良	精神及び行動の障害	33.81	新生物	13.30	特殊目的用コード	13.07
和歌山	精神及び行動の障害	27.55	新生物	16.71	特殊目的用コード	10.84
鳥取	精神及び行動の障害	30.96	新生物	14.11	特殊目的用コード	11.61
島根	精神及び行動の障害	31.62	新生物	16.29	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.04
岡山	精神及び行動の障害	33.93	新生物	12.15	特殊目的用コード	11.90
広島	精神及び行動の障害	32.16	新生物	14.09	特殊目的用コード	10.07
山口	精神及び行動の障害	27.02	新生物	16.86	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.23
徳島	精神及び行動の障害	25.16	特殊目的用コード	17.73	新生物	13.09
香川	精神及び行動の障害	30.71	新生物	14.25	特殊目的用コード	10.17
愛媛	精神及び行動の障害	29.97	新生物	15.97	特殊目的用コード	11.70
高知	精神及び行動の障害	28.39	新生物	14.05	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.95
福岡	精神及び行動の障害	35.71	新生物	14.42	特殊目的用コード	10.00
佐賀	精神及び行動の障害	28.95	新生物	16.28	特殊目的用コード	9.55
長崎	精神及び行動の障害	29.20	新生物	16.01	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.30
熊本	精神及び行動の障害	30.01	新生物	14.98	特殊目的用コード	11.67
大分	精神及び行動の障害	29.01	新生物	14.50	特殊目的用コード	10.86
宮崎	精神及び行動の障害	26.46	新生物	15.50	特殊目的用コード	11.87
鹿児島	精神及び行動の障害	26.11	新生物	14.33	特殊目的用コード	11.36
沖縄	精神及び行動の障害	34.97	新生物	11.58	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.60

都道府県別資格喪失者の件数割合が高い傷病（令和５年10月分）

	1位		2位		3位	
	傷病	件数割合	傷病	件数割合	傷病	件数割合
全国	**精神及び行動の障害**	**63.57**	**新生物**	**8.84**	**循環器系の疾患**	**7.38**
北海道	精神及び行動の障害	57.43	新生物	12.48	循環器系の疾患	9.24
青森	精神及び行動の障害	47.04	循環器系の疾患	12.22	新生物	11.85
岩手	精神及び行動の障害	49.58	新生物	15.68	循環器系の疾患	13.14
宮城	精神及び行動の障害	55.25	新生物	12.88	循環器系の疾患	8.31
秋田	精神及び行動の障害	55.30	新生物	14.29	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.68
山形	精神及び行動の障害	48.96	新生物	17.43	循環器系の疾患	12.86
福島	精神及び行動の障害	59.46	新生物	9.77	循環器系の疾患	8.73
茨城	精神及び行動の障害	55.45	新生物	9.56	循環器系の疾患	9.37
栃木	精神及び行動の障害	56.28	新生物	13.32	循環器系の疾患	8.04
群馬	精神及び行動の障害	53.81	循環器系の疾患	11.96	新生物	11.13
埼玉	精神及び行動の障害	58.80	新生物	9.80	循環器系の疾患	9.28
千葉	精神及び行動の障害	59.87	循環器系の疾患	9.24	新生物	8.93
東京	精神及び行動の障害	72.21	新生物	6.77	循環器系の疾患	5.26
神奈川	精神及び行動の障害	63.37	新生物	9.11	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.18
新潟	精神及び行動の障害	66.80	新生物	10.04	循環器系の疾患	7.79
富山	精神及び行動の障害	51.14	新生物*	10.05	神経系の疾患*	10.05
石川	精神及び行動の障害	61.74	新生物	9.09	循環器系の疾患	7.95
福井	精神及び行動の障害	59.39	新生物	12.69	神経系の疾患	6.60
山梨	精神及び行動の障害	66.50	新生物	12.50	循環器系の疾患	7.00
長野	精神及び行動の障害	63.91	新生物	8.52	循環器系の疾患	7.27
岐阜	精神及び行動の障害	53.37	循環器系の疾患	12.90	新生物	10.71
静岡	精神及び行動の障害	57.63	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.35	循環器系の疾患	9.11
愛知	精神及び行動の障害	64.15	新生物	8.36	循環器系の疾患	7.64
三重	精神及び行動の障害	60.37	新生物	9.31	循環器系の疾患	8.78
滋賀	精神及び行動の障害	60.00	新生物	9.60	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.40
京都	精神及び行動の障害	66.24	新生物	9.40	循環器系の疾患	5.41
大阪	精神及び行動の障害	69.60	新生物	6.94	循環器系の疾患	6.14
兵庫	精神及び行動の障害	63.19	新生物	8.71	循環器系の疾患	7.33
奈良	精神及び行動の障害	64.68	循環器系の疾患	10.71	新生物	9.52
和歌山	精神及び行動の障害	61.88	新生物	8.07	循環器系の疾患	6.28
鳥取	精神及び行動の障害	64.23	循環器系の疾患	12.20	新生物	10.57
島根	精神及び行動の障害	57.04	新生物	14.08	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.15
岡山	精神及び行動の障害	65.97	新生物	8.75	循環器系の疾患	6.46
広島	精神及び行動の障害	60.38	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.66	循環器系の疾患	8.42
山口	精神及び行動の障害	46.31	新生物	13.11	循環器系の疾患	12.30
徳島	精神及び行動の障害	59.30	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.47	循環器系の疾患	6.98
香川	精神及び行動の障害	55.91	筋骨格系及び結合組織の疾患	10.63	循環器系の疾患	7.09
愛媛	精神及び行動の障害	62.88	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.51	新生物	8.27
高知	精神及び行動の障害	60.45	新生物	11.30	循環器系の疾患	10.73
福岡	精神及び行動の障害	66.32	新生物	8.28	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.66
佐賀	精神及び行動の障害	61.23	新生物	8.37	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.61
長崎	精神及び行動の障害	50.76	筋骨格系及び結合組織の疾患	11.31	新生物	10.09
熊本	精神及び行動の障害	65.10	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.72	新生物	7.83
大分	精神及び行動の障害	57.86	新生物	10.37	神経系の疾患	7.69
宮崎	精神及び行動の障害	53.97	新生物	12.25	循環器系の疾患	9.27
鹿児島	精神及び行動の障害	54.76	新生物	9.73	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.51
沖縄	精神及び行動の障害	62.64	筋骨格系及び結合組織の疾患	9.66	循環器系の疾患	7.41